

企画政策課の目標（平成19年度）

情報化推進室長 浜野 敏幸

1 課の役割

企画政策課情報化推進室の主な業務は、町民生活の利便性の向上や行政運営の簡素化・効率化の推進を図るため、庁内ネットワークを構築しており、これらのネットワーク機器の維持管理の役割を担っています。

2 個別事業とその目標

1 電算システムの経費削減の具体化

(1) 平成18年度に策定した「酒々井町電算システムの経費削減のための方針」による。同方針の金額目標としては、平成18年度から平成22年度までの5カ年間で、4,602万円の削減を行うこととしています。なお、この計画のうち、財務会計及び人事給与システムに関しては、目標以上の達成が行われ、平成19年度からの6年間で、4,538万円の削減を見込んでいます。

(2) 電算経費削減の一環として、「畜犬システム」について、町独自の開発を行うことを目標としてきましたが、平成19年度から、システム開発に関して、職員1人を専任できる体制とし、これにより、平成20年度から「畜犬システム」を稼働していきます。

2 酒々井町セキュリティポリシーの研修

計画的に実施し、全職員への意識の浸透を図ります。その他、実施手順の策定、監査の実施等については、順次達成していきます。

セキュリティポリシー研修実績	平成17年度	53名		
	平成18年度	24名		
	平成19年度	18名	累計	95名

3 LGWANの推進

千葉県電子自治体共同運営協議会等を通じて、円滑な推進を図ります。

4 ホームページの活用、利用促進

平成17年10月に導入したウェブコンテンツ作成システムにより、各課の提供情報の充実を図ることとしており、平成19年4月から、トップページを含めた、ページ全体のアクセシビリティに対応した見直しを行いました。今後も必要性を考慮しながら見直しを行っていきます。

5 酒々井町観光ナビゲーションシステムの開発

社会教育課及び経済振興課と連携して、町の観光資源100箇所に、当該システムにより、情報提供していくとともに、更に内容の充実を図っていきます。

2 個別事業とその目標（その2）

6 文書の電子化

町所有の文書については、できるだけ電子化を図っていきます。

電子化された文書一覧

	電子化文書	原本発行年月	頁数
1	教養読本	昭和 43 年度	6 9
2	しすいの文化財第 1 集	昭和 48 年 3 月 31 日	2 2
3	しすいの文化財第 2 集	昭和 52 年 3 月	2 3
4	酒々井町の歴史	昭和 54 年 10 月 15 日	6 8
5	s h i s u i 1 0 0	平成元年 3 月	3 7
6	わたしたちの酒々井町	平成 14 年 3 月 31 日	112
7	酒々井町の寺社	平成 19 年度(新規)	4 8
8	酒々井の伝承話	平成 19 年度(新規)	2 5
9	酒々井町の獅子舞	平成 19 年度(新規)	3
10	菊賀神社	平成 19 年度(新規)	6 6
11	酒々井町例規類集	平成 19 年度全文電子化	
12	酒々井町著名人リスト	平成 19 年度	4 7
13	酒々井町著名人リスト・ 歴史上の人物編	平成 19 年度	238

7 バランスシートの作成

平成 19 年度から、国保、老人、下水、介護、水道の各会計のバランスシートも作成し、連結バランスシートの作成を行っていきます。

また、土地について、固定資産税評価額によるバランスシートも併せて作成していきます。